

## 選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立健康・栄養 研究所	監事 (非常勤)	長谷川 敏彦	63	H21.4.1	国立保健医療科学院政 策科学部長[OB] 日本医科大学医療管理 学教室教授	岡山 明	55	公益財団法人結核予防 会理事	応募総数 15名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)高齢・障害者雇 用支援機構	理事長	戸苅 利和	63	H19.10.1	厚生労働事務次官[OB] (独)高齢・障害者雇用支 援機構理事	小林 利治	63	(株)東芝取締役(監査委 員会委員) 日本年金機構監事	応募総数 42名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任
(独)医薬基盤研究 所	監事 (非常勤)	大田 晋	64	H17.4.1	厚生省大臣官房付[OB] 川崎医療福祉大学医療 福祉学部教授	宅 康次	62	経営コンサルタント 元田辺三菱製薬(株)監 査部長	応募総数 7名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任

(独)国立循環器病 研究センター	理事長	橋本 信夫	63	H22.4.1	国立循環器病センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)	応募総数 4名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)国立精神・神経 医療研究センター	理事長	樋口 輝彦	65	H22.4.1	国立精神・神経センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)	応募総数 1名 ↓ 書類選考 ↓(1名) 面接 ↓(1名) 任命権者が選任
(独)国立国際医療 研究センター	理事長	桐野 高明	64	H22.4.1	国立国際医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)	応募総数 2名 ↓ 書類選考 ↓(2名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)国立成育医療 研究センター	理事長	加藤 達夫	66	H22.4.1	国立成育医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)	応募総数 3名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任
(独)国立長寿医療 研究センター	理事長	大島 伸一	65	H22.4.1	国立長寿医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)	応募総数 2名 ↓ 書類選考 ↓(2名) 面接 ↓(2名) 任命権者が選任

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人国立健康・栄養研究所役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	徳留 信寛	66	H21.4.1	4	H25.3.31	名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野教授				厚生労働大臣	
理事	芝池 伸彰	60	H16.8.1	2	H23.7.5	東海北陸厚生局長				理事長	
監事 (非常勤)	長谷川敏彦	63	H21.4.1	2	H23.3.31	国立保健医療科学院政策科学部長 日本医科大学医療管理学教室教授	岡山 明	55	公益財団法人結核予防会理事	厚生労働大臣	H23.4.1
監事 (非常勤)	横山 明	64	H13.4.1	2	H23.3.31	横山会計事務所所長	再任			厚生労働大臣	H23.4.1

公募

## 独立行政法人国立健康・栄養研究所非常勤監事 選任理由

本法人の使命は、国民の健康の保持・増進に関する調査・研究、国民の栄養その他国民の食生活に関する調査・研究等の業務を一体的に行い、公衆衛生の向上・増進に資することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、業務の運営状況、法令・規程等の実施状況、予算の執行状況及び決算状況等が適切かつ効率的に行われているかどうかの監査を行うとともに、独立行政法人の経営運営改革の実施について、監事という立場から積極的に参画することが求められる。

本件公募に対しては、15名の応募があり、選考委員会において、書類選考を経て、4人の候補者に対して面接を行い、当法人の監事としての適性を有する2人を選び、任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、岡山 明氏を最適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、医師・研究者として、大学・公的機関において栄養疫学等の研究・教育に、また、健診機関において保健指導等に從事してきた経験から、本法人の事務・事業に関わる十分な知見と業務改革への熱意を有するとともに、監査業務に対する理解を持ち合わせていることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価され、任命権者としても独立行政法人の経営運営改革を促すことができる最適任者であると判断したものである。

### 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構役員名簿新旧対照表

公募

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期满了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	戸蒔 利和	63	H19.10.1	4	H23.9.30	厚生労働事務次官(独)高齢・障害者雇用支援機構理事	小林 利治	63	(株)東芝取締役(監査委員会委員) 日本年金機構監事	厚生労働大臣	H23.4.1
理事 (理事長代理)	五月女 英介	65	H19.10.1	2	H23.9.30	三菱電機(株)上席常務執行役国際部長				理事長	
理事	鏡山 幸彦	66	H20.7.1	2	H23.9.30	日立電子サービス(株)監査役				理事長	
理事	中村 廣志	62	H22.4.1	2	H23.9.30	富士通 コンピュータープロダクツコーポレーション オブ ザ フィリピンズ社長				理事長	
理事	伊澤 章	54	H18.9.2	2	H23.9.30	厚生労働省参事官(政策統括官付労使関係担当参事官室長)【役員出向】				理事長	
監事	八木原 壮夫	61	H17.10.1	2	H23.9.30	(独)高齢・障害者雇用支援機構情報研究部長				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	福井 光彦	59	H21.10.1	2	H23.9.30	(財)損保ジャパン環境財団専務理事				厚生労働大臣	

## 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構理事長選任理由

本法人の使命は、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが安心して意欲を持って働ける社会の実現に向け、高齢者の雇用の確保、障害者の職業的自立の推進のために、高齢者、障害者、事業主等に対し総合的な支援を行うことである。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、組織（本部及び54施設）の円滑な運営はもとより、事業が効果的・効率的に推進されるよう、役職員が一体となって、年齢や障害の有無にかかわらず誰もが安心して意欲を持って働くことができる社会の実現に向け、高齢者の雇用の確保及び障害者の職業的自立の推進を図るべく、高齢者、障害者、事業主等に対し総合的な支援を行うという使命の達成に向けて、強力な指導力を発揮することが求められる。

本件公募に対しては、42人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た1人を、絞り込む前の他の候補者の情報とともに任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、小林利治氏を選任したところである。

任命理由は、大手民間企業の経験を通じて組織運営に関する深い知識を有しており、組織運営に積極的であること、また、社会保険庁改革にも従事してきており、組織改革を担うことについての信頼感があることなどが、選考委員会から評価されたことによるものである。任命権者としても独立行政法人の経営運営改革を促すことが期待できる最適任者であると判断したものである。

### 独立行政法人医薬基盤研究所役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	山西 弘一	69	H17.4.1	4	H25.3.31	国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科長・医学部長				厚生労働大臣	
理事 (非常勤)	池田 年仁	56	H21.7.24	2	H23.3.31	神戸市保健福祉局参事	再任			理事長	H23.4.1
監事 (非常勤)	大田 晋	64	H17.4.1	2	H23.3.31	厚生省大臣官房付川崎医療福祉大学医療福祉学部教授	宅 康次	62	経営コンサルタント元田辺三菱製薬(株)監査部長	厚生労働大臣	H23.4.1
監事 (非常勤)	小南 悟郎	62	H21.4.1	2	H23.3.31	塩野義製薬(株)医薬研究本部主席研究員大阪城南女子短期大学非常勤講師	再任			厚生労働大臣	H23.4.1

公募

## 独立行政法人医薬基盤研究所非常勤監事 選任理由

本法人の使命は、医薬品等の開発に資する基盤的技術の研究、民間等において行われる研究開発の振興等を通じて、革新的医薬品等の創出に貢献し、国民保健の向上に資することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、業務の運営状況、法令・規程等の実施状況、予算の執行状況及び決算状況等が適切かつ効率的に行われているかどうかの監査を行うとともに、独立行政法人の経営運営改革の実施について、監事という立場から積極的に参画することが求められる。

本件公募に対しては、7名の応募があり、選考委員会において、書類選考を経て、4人の候補者に対して面接を行い、当法人の監事としての適性を有する2人を選び、任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、宅 康次氏を最適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、民間会社における監査部門等の管理職を経て、現在、内部統制等に係る経営コンサルタント業に従事しており、監査業務について実務経験・知識が豊富であること、また、医薬品等の創出に資することを目的とした本法人の業務に関する理解・知見を有し、法人の業務改革への意欲もうかがえることなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価され、任命権者としても独立行政法人の経営運営改革を促すことが期待できる最適任者であると判断したものである。

### 独立行政法人国立循環器病研究センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	橋本 信夫	63	H22.4.1	2	H24.3.31	国立循環器病センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)			厚生労働大臣	—
理事	寒川 賢治	62	H22.4.1	2	H24.3.31	国立循環器病センター 研究所長				理事長	
理事 (非常勤)	澤 芳樹	55	H22.4.1	2	H24.3.31	大阪大学大学院 医学系研究科教授				理事長	
理事 (非常勤)	福島 公明	63	H22.4.1	2	H24.3.31	淀川キリスト教病院 常任理事				理事長	
監事 (非常勤)	竹山 健二	67	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	中務 裕之	53	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	

## 独立行政法人国立循環器病研究センター理事長 選任理由

本法人の使命は、循環器病に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、循環器病に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、法人の長として法人全体の業務を総理し、中期目標、中期計画及び各年度計画に基づき、その達成に向けて、的確に業務を遂行することが求められている。

本件公募に対しては、4人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、その評価を任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、橋本信夫氏を適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、平成22年4月から本法人の理事長として、約1,000人の常勤職員のほか、レジデントや研修医などを統率して各部門の効果的・機動的な連携を指揮するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有し、かつ、法人の経営・運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、循環器病に係る研究・医療面の経験・実績という強みを持っていることから、厚生労働大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

### 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	樋口 輝彦	65	H22.4.1	2	H24.3.31	国立精神・神経センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)			厚生労働大臣	—
理事	高坂 新一	62	H22.4.1	2	H24.3.31	国立精神・神経センター 神経研究所長				理事長	
理事	糸山 泰人	63	H22.4.1	2	H24.3.31	東北大学大学院 医学系研究科教授				理事長	
理事 (非常勤)	岩坪 威	51	H22.4.1	2	H24.3.31	東京大学大学院 医学系研究科教授				理事長	
理事 (非常勤)	加藤 一郎	56	H22.4.1	2	H24.3.31	弁護士				理事長	
監事 (非常勤)	梅澤 厚廣	66	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	長崎 武彦	67	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	

## 独立行政法人国立精神・神経医療研究センター理事長 選任理由

本法人の使命は、精神疾患、神経疾患、筋疾患及び知的障害その他の発達の障害（以下「精神・神経疾患等」という。）に係る医療並びに精神保健に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、精神・神経疾患等に関する高度かつ専門的な医療及び精神保健の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、法人の長として法人全体の業務を総理し、中期目標、中期計画及び各年度計画に基づき、その達成に向けて、的確に業務を遂行することが求められている。

本件公募に対しては、1人の応募があり、選考委員会が書類選考及び面接を行った上で、その評価を任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、樋口輝彦氏を適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、平成22年4月から本法人の理事長として、約600人の常勤職員のほか、レジデントや研修医などを統率して各部門の効果的・機動的な連携を指揮するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有し、かつ、法人の経営・運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、精神疾患に係る研究・医療面の経験・実績という強みを持っていることから、厚生労働大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

### 独立行政法人国立国際医療研究センター役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令予定日	
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴			
公募	理事長	桐野 高明	64	H22.4.1	2	H24.3.31	国立国際医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)			厚生労働大臣	—
	理事	木村 壯介	66	H22.4.1	2	H24.3.31	国立国際医療センター 戸山病院長				理事長	
	理事	春日 雅人	63	H22.4.1	2	H24.3.31	国立国際医療センター 研究所長				理事長	
	理事	上村 直実	60	H22.4.1	2	H24.3.31	国立国際医療センター 病院内視鏡部長				理事長	
	理事 (非常勤)	門脇 孝	58	H22.4.1	2	H24.3.31	東京大学大学院 医学系研究科教授				理事長	
	理事 (非常勤)	菅原 哲朗	62	H22.4.1	2	H24.3.31	弁護士				理事長	
	監事 (非常勤)	塩原 修蔵	64	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	
	監事 (非常勤)	水嶋 利夫	67	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	

## (独) 国立国際医療研究センター理事長選任理由

本法人の使命は、感染症その他の疾患であって、その適切な医療の確保のために海外における症例の収集その他国際的な調査及び研究を特に必要とするもの（以下「感染症その他の疾患」という。）に係る医療並びに医療に係る国際協力に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、感染症その他の疾患に関する高度かつ専門的な医療、医療に係る国際協力等の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、法人の長として法人全体の業務を総理し、中期目標、中期計画及び各年度計画に基づき、その達成に向けて、的確に業務を遂行することが求められている。

本件公募に対しては、2人の応募があり、当該2人の応募者に対して、選考委員会が書類選考及び面接を行った上で、その評価を任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、桐野高明氏を適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、平成22年4月から本法人の理事長として、約1,500人の常勤職員のほか、レジデントや研修医などを統率して各部門の効果的・機動的な連携を指揮するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有し、かつ、法人の経営・運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、研究・医療面の豊富な経験・実績という強みを持っていることから、厚生労働大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

### 独立行政法人国立成育医療研究センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	加藤 達夫	66	H22.4.1	2	H24.3.31	国立成育医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)			厚生労働大臣	—
理事 (非常勤)	五十嵐 隆	57	H22.4.1	2	H24.3.31	東京大学大学院 医学系研究科教授				理事長	
理事 (非常勤)	木村 正治	63	H22.4.1	2	H24.3.31	IDSシェア・ジャパン (株)上席顧問				理事長	
理事 (非常勤)	濱田 正文	62	H22.4.1	2	H24.3.31	元興銀ファイナンス 代表取締役社長				理事長	
監事 (非常勤)	石井 孝宜	57	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	鈴木 和男	64	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	

## (独) 国立成育医療研究センター理事長選任理由

本法人の使命は、母性及び父性並びに乳児及び幼児の難治疾患、生殖器疾患その他の疾患であって、児童が健やかに生まれ、かつ、成育するために特に治療を必要とするもの(以下「成育に係る疾患」という。)に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、成育に係る疾患に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、法人の長として法人全体の業務を総理し、中期目標、中期計画及び各年度計画に基づき、その達成に向けて、的確に業務を遂行することが求められている。

本件公募に対しては、3人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、その評価を任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、加藤達夫氏を適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、平成22年4月から本法人の理事長として、約800人の常勤職員のほか、レジデントや研修医などを統率して各部門の効果的・機動的な連携を指揮するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有し、かつ、法人の経営・運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、小児の感染症対策など研究・医療面の経験・実績という強みを持っていることから、厚生労働大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

### 独立行政法人国立長寿医療研究センター役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令予定日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	大島 伸一	65	H22.4.1	2	H24.3.31	国立長寿医療センター 総長	(公募の結果、改めて現任者を選任)			厚生労働大臣	—
理事	鳥羽 研二	59	H22.4.1	2	H24.3.31	国立長寿医療センター 病院長				理事長	
理事	鈴木 隆雄	59	H22.4.1	2	H24.3.31	国立長寿医療センター 研究所長				理事長	
理事 (非常勤)	藤井 成俊	62	H22.4.1	2	H24.3.31	弁護士				理事長	
監事 (非常勤)	加賀 国立	70	H22.4.1	2	H24.3.31	公認会計士				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	酒井 俊皓	68	H22.4.1	2	H24.3.31	弁護士				厚生労働大臣	

## (独) 国立長寿医療研究センター理事長選任理由

本法人の使命は、加齢に伴って生ずる心身の変化及びそれに起因する疾患であって高齢者が自立した日常生活を営むために特に治療を必要とするもの（以下「加齢に伴う疾患」という。）に係る医療に関し、調査、研究及び技術の開発並びにこれらの業務に密接に関連する医療の提供、技術者の研修等を行うことにより、国の医療政策として、加齢に伴う疾患に関する高度かつ専門的な医療の向上を図り、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、法人の長として法人全体の業務を総理し、中期目標、中期計画及び各年度計画に基づき、その達成に向けて、的確に業務を遂行することが求められている。

本件公募に対しては、2人の応募があり、当該2人の応募者に対して、選考委員会が書類選考及び面接を行った上で、その評価を任命権者である厚生労働大臣に提示したところ、大島伸一氏を適任と判断するに至ったところである。

任命理由は、平成22年4月から本法人の理事長として、約400人の常勤職員のほか、レジデントや研修医などを統率して各部門の効果的・機動的な連携を指揮するなど、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有し、かつ、法人の経営・運営改革を実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。特に同人は、研究・医療面の豊富な経験・実績という強みを持っていることから、厚生労働大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【厚生労働省】

- ・独立行政法人国立健康・栄養研究所 監事（非常勤）

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学教授	2名
・公認会計士	1名
・会社（役）員	1名
計	4名

- ・独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 理事長

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学教授	2名
・労使関係者	2名
計	4名

- ・独立行政法人医薬基盤研究所 監事（非常勤）

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学教授	2名
・公認会計士	1名
・会社（役）員	1名
計	4名

- ・独立行政法人国立循環器病研究センター 理事長

選考委員会のメンバーの主な属性は以下のとおり

・大学教授	4名
・病院経営者	3名
・会社役員	1名
・団体役員	3名
計	11名

・独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 理事長

選考委員会のメンバーの主な属性は以下のとおり

・ 大学教授	4名
・ 病院経営者	3名
・ 会社役員	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>3名</u>
計	11名

・独立行政法人国立国際医療研究センター 理事長

選考委員会のメンバーの主な属性は以下のとおり

・ 大学教授	4名
・ 病院経営者	3名
・ 会社役員	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>3名</u>
計	11名

・独立行政法人国立成育医療研究センター 理事長

選考委員会のメンバーの主な属性は以下のとおり

・ 大学教授	4名
・ 病院経営者	3名
・ 会社役員	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>3名</u>
計	11名

・独立行政法人国立長寿医療研究センター 理事長

選考委員会のメンバーの主な属性は以下のとおり

・ 大学教授	4名
・ 病院経営者	3名
・ 会社役員	1名
・ <u>団体役員</u>	<u>3名</u>
計	11名